

歌えば樂し②

中司愛子（植野）

コーラスを続けているうちに、なにかしら少しずつ身体の状態とはアンバランスに気持ちだけは若返つてくるような気持ちになります。広報でのささやかな呼びかけに、仲間が少しずつ増えたことも楽しいことです。市の演芸大会や文化祭にも参加させていただき、よい歌を歌うことは気持ちが若返ることになります。

若いママさんたちは熱心で、年寄りの私にも同じように華やかなロングドレスを着せて下さって、恥ずかしいだの、この年だからおかしくないかとかつまらないことを言わせないで勇気を持たせてください。私は七十三歳。名実ともに

おばあちゃんなのです。いつの間にか年を取りました。歳月は人を待たず。いついかなることも問題にしないで歩み去ってゆきます。残り少なくなつてゆく人生の一 日をともかくもよく生きてゆくことが出来る人間になりたいと思うのです。

教育者として有名だった羽山もとさんは「現在をよく生きることが出来る人は、過去を済めることが出来る人です」と言われました。身体の老化は自然の成り行きで致し方ないとあきらめても、暗い気持ちにはならないでよい歌を言わせないで勇気を持たせてください。人々とともに歌いたいと思っています。

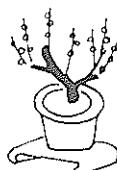
若い方もお年を召した方々もと

もに歌を楽しみましょう。未知の方々と交わって温かい思いを抱くこともまた豊びです。ボケかけた老人に感めを与える、うれしい

ときも寂しいときも、よい歌をもに歌ってしばしのひとときをほのぼのと過ごしたいと思います。

一日奉仕に 参加して

十市・主婦



「ほのぼの広場」に、あなたの身の回りのほのぼのとした話題や我が家の中慢料理、読書の感想など、お気軽にご投稿ください。

▼投稿先。〒783 南国市
大塩甲二三〇一 南国市役所
内広報委員会まで。

今年一月のある日、十市婦人会の一員として清風園と希望の家の奉仕作業に加わりました。事務室で案内を受け、会場の作業室では珍しく冷たい風の日でした。小人数でしたが二班に別れ、私たちは希望の家に向いました。事務室で案内を受け、会場の作業室で

暖かく穏やかな今年の冬にしておりました。反省会の席上で老眼鏡を借りに来るどんまさんや、電動ミシンがバックオーライしかしないと騒ぎ立てる奉仕団はそういう失敗ばかりの一日奉仕でした。その心温かくうれしい一日でした。そして感謝の一日でした。希望の家の皆さん、ありがとうございました。

おむつを縫うことになりました。寒い日でしたので室内での仕事をとの職員の方の配慮からでした。掃除や洗濯の奉仕とばかり思っていた私は、ミシンを前にはたと困りました。老眼鏡を持参していましたが、手先の動きは鈍く、話もらつて、さあ仕事始めとなりましたが、手先の動きは鈍く、話と笑いが先行しての針仕事となりました。慣れない手付きのボランティアで職員の方こそお気の毒でした。お手伝いをして喜んでもらいたいなんて気負った自分がおかしく、結果としてはやさしい気配りと温かな雰囲気に包まれてほのぼのとした思い出を貯蔵した一日となりました。反省会の席上で老眼鏡を借りに来るどんまさんや、電動ミシンがバックオーライしかしないと騒ぎ立てる奉仕団はそういう失敗ばかりの一日奉仕でした。その心温かくうれしい一日でした。そして感謝の一日でした。希望の家の皆さん、ありがとうございました。



第189回当選者発表（敬称略）
(応募総数28通)

■当選者

大石悟史（左右山）

佃清子（篠原）

土居友典（十市）

中澤康代（里改田）

松岡美津恵（稻生）